

県議会議長として一段と広がる活動のフィールドレポート

現代社会は数百年規模での大きな変貌の転換期の真っただ中におり、既存の政治システムは、繁栄による配分から負担の分担が重要な課題となり、次なる時代への正しい文明史観の確立が求められます。

先進諸国は新たな経済成長戦略と社会保障制度に対し、複合的かつ高次元の対応が迫られており一方、新興国とりわけアジア諸国は、日本の明治を想起されるほどの国民の気概のもと、世界の重心となりつつあります。

従って、日本の政治は主体性を持って真に国民のための舵を切り、迫りくる危機から日本を救うべく政治的エネルギーを再熟させなければなりません。日本の真の国益について再考し、新たな日本の造形に向け、戦後最大なる岐路に立った日本の未来に思いを馳せ、政治は正しい選択と決断を下さなければなりません。

私も微力ながら県議会議長として、「地方の再生なくして日本の復権なし」を基本理念として、今後とも213万県民のための公正公平な議会運営に努めて参ります。

長野県は、各種社会資本整備・商工業・農業・医療・介護・教育・環境・危機管理をはじめ、山積する諸課題を抱えておりますが、新しい時代への構想力と実行力を持つて、この難局に挑戦することとが県議会の責務であります。

私も歴史的分水嶺の今、中央と地方をはじめ各分野における格差を正しく解析し、地域社会が醸成した歴史・伝統・文化・習俗という長野県の貴重な遺産を基軸に、豊かな県民生活の向上と人間の復権を目指す政治に全力を傾注する所存であります。

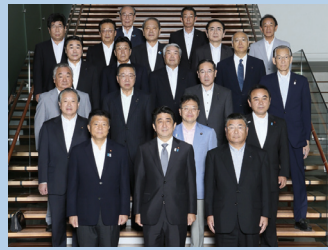
長野県議会議長
本郷 一彦



本会議場の議長席にて



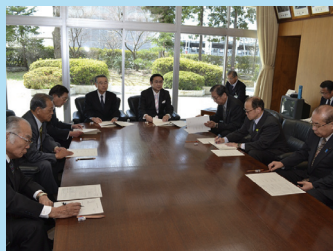
議長室にて



首相官邸にて安倍総理と



地方活性化について
自民党石破幹事長に要請



各会派の代表者との打ち合わせ



議会運営委員会にて



6月定例会にあたり、
議長として知事に所見を述べる



長野県植樹祭に参加



長野市長会長
菅谷市長より要望を受ける



JA大槻会長はじめ農政関係者
より凍霜被害の要望を受ける



中部縦貫自動車道、
国道158号の早期実現に向けて



長野県経済の再生について挨拶



21世紀長野県農業の
振興について



庄内交番落成式にて



上高地開山祭にて



母校松本県ヶ丘高校90周年式典にて



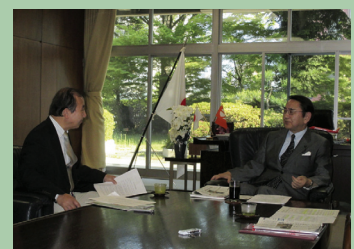
長野県の
ものづくりの更なる向上にむけて



日本の政治の安定に向けて



県内選出国会議員への要請活動



マスコミよりインタビューに答える

本郷一彦は長野県議会のニューリーダーとして激動の21世紀に挑戦